

一般社団法人 教育システム情報学会

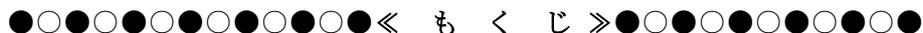
Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.215



発行日 2018年7月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 仲林 清
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358番地5
アカデミーセンター
URL <http://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org

平成30年7月豪雨により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、
被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます



7月豪雨で被災された会員の皆様へ 2	本学会研究会における不適切な質問等への 対応について 18
第43回全国大会のご案内 3	支部活動報告 19
全国大会プレカンファレンス開催案内	学会 Twitter, Facebook のご案内 . . . 21
論文執筆チュートリアル 7	他団体協賛・後援のお知らせ 22
科研費申請支援チュートリアル 8	国際会議のご案内 23
第3回研究会講演募集 9	会費納入のお願い 24
第4回研究会講演募集 11	事務局より 26
第2回研究会開催報告 13	会員専用ページの案内,
LIGP2018 開催報告 14	学会誌・研究報告バックナンバーのご案内,
ラーニングイノベーション研究展示報告 . 16	新入会員のご紹介,
研究会報告年間購読の申し込み 17	入会のご案内





平成30年7月豪雨で被災された会員の皆様へ

平成30年7月豪雨により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

教育システム情報学会は、今回の豪雨で被害に遭われた方々に対して、以下のように会費の減免をさせていただくことに致しました。

- ・災害に遭われ被害を受けた会員の平成30年度の会費を、お申し出により免除させていただきます。既に会費を納められた会員に対しては、次年度以降の会費に充当させていただきます。
- ・この制度の適用は、会員の自宅や勤め先が被災地区にある等に限定せず、広く様々な事情を斟酌する事といたします。

つきましては、ご面倒でも、会員番号、氏名、自宅住所、勤務先等の情報の他、自宅や勤め先が被災地区では無い方は制度申し出の理由を簡単に記載したメールを学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。



第 43 回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ： 産学連携が拓く未来の教育・学習プラットフォーム

<http://www.jsise.org/taikai/2018/>

- 開催日時： 2018年9月4日(火)～9月6日(木)
- 会場： 北星学園大学（北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1）
- 主催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程（予定）

2日目の昼休みには、企業ランチョンセミナーが開催されます。無料で配布されるお弁当を食べながら、参加企業のプレゼンテーションを聴講するセッションです（お弁当は先着順です）。

9月4日（火）	
9:00～11:50	プレカンファレンス
13:00～15:20	オープニング（大会委員長，現地校挨拶），基調講演（会長），企業セッション
15:40～18:20	一般セッション（口頭発表，インタラクティブ(ポスター・デモ)発表），企画セッション
9月5日（水）	
9:00～11:50	一般セッション（口頭発表），企画セッション
11:50～13:00	昼休み & 企業ランチョンセミナー
13:00～15:10	各種表彰，大会企画パネル
15:30～18:10	一般セッション（口頭発表，インタラクティブ(ポスター・デモ)発表），企画セッション，学生研究特別セッション
18:30～20:30	懇親会（会場：北星学園大学生協食堂）
9月6日（木）	
9:00～11:50	一般セッション（口頭発表），企画セッション
13:00～13:20	クロージング，大会奨励賞表彰
13:30～15:30	JSiSE 公開シンポジウム

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 交通アクセスについて

札幌市営地下鉄大谷地(おおやち)駅 1 番出口より徒歩 5 分 (<http://www.hokusei.ac.jp/access/>)

AIRDO MICE 割引運賃のご案内

札幌市と AIRDO の協定により，今大会では「AIRDO MICE 割引運賃」を利用できます。予約変更可能な割引運賃で，利用対象者は本学会への参加者および参加者の二親等以内の親族となります。予約・搭乗時に必要な「運賃利用承認コード」は，大会参加申込時にご案内いたします。

<http://www.airdo.jp/fare/list/mice.html>

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,560円 学生会員：3,240円 非会員（学生以外）：10,800円 非会員（学生）：5,400円 論文掲載料：1,000円（論文一編につき）	一般会員：8,500円 学生会員：4,000円 非会員（学生以外）：12,000円 非会員（学生）：6,500円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：5,000円 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：6,000円 学生：3,000円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンス、および最終日午後の公開シンポジウムの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 基調講演（9月4日（火） 13:20～14:10）

「続々・イノベーションのジレンマ」

仲林 清（教育システム情報学会 会長、千葉工業大学 情報科学部 教授）

○ 大会企画パネル（9月5日（水） 13:20～15:10）

「産学連携からみた教育・学習支援システム研究の今と5年後10年後」

登壇者：柏原 昭博（電気通信大学）

不破 泰（信州大学）

川口 泰司（サイコム・ブレインズ株式会社）

國枝 孝之（香川大学）

司会・コーディネータ：松浦 健二（徳島大学）

○ JSiSE 公開シンポジウム（9月6日（木） 13:30～15:30）

「ICTを用いた聴覚障害学生支援

ー北海道の大学における現状紹介とパソコンテイク体験ー」

オーガナイザ：皆川 雅章（札幌学院大学）

主催：教育システム情報学会 北海道支部

○ プレカンファレンス（9月4日（火） 9:00～11:50）

1. 教育・学習支援システム若手研究者としてのモチベーションと研究アプローチ

2. LIGP2018と産学連携人材育成の道

3. オンライン学習で成功するためのレディネス：オンライン学習者のリテラシーとは？

4. 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー

ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

5. 直感的な動作命令を持つロボットを用いたプログラミング入門
－ JSiSE 北海道支部企画 －
 6. ラーニング・コモンズを活用した学習支援の可能性
 7. 対話 (dialogue) は学習にどのような役割を果たしているのか
 8. CHiLO コンテンツと Moodle を用いた ICT 活用教育と活用事例
- 企画セッション (9月4日(火) 17:00~18:20, 9月5日(水) 9:00~11:50, 16:50~18:10, 9月6日(木) 9:00~11:50) (63件)
1. AI/ロボット/VR・ARを用いた学習・教育支援のイノベーション・リノベーション (20件)
 2. ラーニング・アナリティクス (LA) の先進事例と課題 (4件)
 3. 医療・看護・福祉領域における ICT 等活用教育 (10件)
 4. 対話 (dialogue) は学習にどのような役割を果たしているのか (6件)
 5. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発 (4件)
 6. ICT を活用した PBL(problem / project based learning)の支援 (4件)
 7. 新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計 (7件)
 8. 新学習指導要領とプログラミング教育 (8件)
- 懇親会
北星学園大学生協食堂にて開催
- 学生研究特別セッション (インタラクティブ(ポスター・デモ)発表) (7件)
- 一般セッション (インタラクティブ(ポスター・デモ)発表) (47件)
- 一般セッション (口頭発表) (119件)
- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. アクティブラーニング (3件) | 15. 先進的学習支援/分析技術 (4件) |
| 2. アクティブラーニング・協調学習 (3件) | 16. デバイス活用 (4件) |
| 3. 医療・看護・福祉教育 (3件) | 17. デバイス活用/ソーシャルメディア活用 (3件) |
| 4. 遠隔教育 (4件) | 18. 特別支援教育/教科教育 (3件) |
| 5. 学習環境デザイン (7件) | 19. プラットフォーム開発 (3件) |
| 6. 学習者特性・行動分析 (9件) | 20. プラットフォーム開発/プラットフォーム活用 (3件) |
| 7. 学習評価・アセスメント (8件) | 21. ブレンディッド学習 (3件) |
| 8. 語学教育 (6件) | 22. プログラミング教育 (3件) |
| 9. 授業設計・インストラクショナルデザイン (9件) | 23. プログラミング教育/教科教育 (3件) |
| 10. 情報技術教育 (3件) | 24. マルチメディア活用/プラットフォーム活用 (3件) |
| 11. 情報リテラシー (4件) | 25. ユーザインタフェース (4件) |
| 12. 初等中等教育/高等教育 (4件) | 26. 連携型教育 (3件) |
| 13. スキル学習 (4件) | |
| 14. 先進的学習支援 (12件) | |

■ インターネット接続について

学会期間中は北星学園大学の無線 LAN サービスを利用できます。Web サイトのみ接続可能です。とくに、メールソフトからの SMTP によるメールの送信は出来ませんので、あらかじめご承知おきください。

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM、および Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、8 月 27 日(月)に大会参加者のみに公開され、2019 年 3 月 1 日(金)に一般公開されます。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp



全国大会プレカンファレンス 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

オーガナイザ： 小西達裕（静岡大学）、西野和典（九州工業大学）
松原行宏（広島市立大学）、光原弘幸（徳島大学）、國宗永佳（千葉工業大学）、
松田憲幸（和歌山大学）、編集委員会

応募締め切り 8月10日（延長しました）

論文の投稿や査読について、お悩みや不安、疑問はないでしょうか？

本学会の論文カテゴリは「一般論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」の4つです。たとえば、論文を投稿したいがカテゴリの違いが判然としない、実践論文が満たさなければならない基準って何だろう？、研究を進める上でのポイント・ヒントを知りたい、査読における考え方を整理したいなど、投稿や査読に関するあらゆるお悩み・不安について、編集委員と参加者が知恵を出し合う対話を通して論文投稿のブレークスルーを見い出します。

学会誌編集委員会では2015年まで、全国大会プレカンファレンスとして、チュートリアル『編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門』を実施し、資料および映像をホームページに掲載してきました。

論文執筆チュートリアル：

<http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>

- ・ 論文投稿から掲載までの流れ、投稿に際しての注意
- ・ 論文種別と採録基準 ー現状と改訂の方向性ー
- ・ 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- ・ 教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

一昨年度から、論文投稿に関わる相談会を、上記コンテンツを事前に関覧・視聴してから、対面の相談・議論に臨む“反転 + ディスカッション”ベースで実施し、参加者からご好評をいただきました。本年度も同様に継続します。投稿を予定しておられるなど、ご相談を希望される方（Advisee）の手順は下記です。Advisee 以外の聴講のみのご参加も歓迎です。みなさまのご来場をお待ちしております。

1. 【事前】 URL から応募 <https://goo.gl/forms/I0SzsRw8XZKNwBiR2>
 2. 【事前】 チュートリアルを閲覧
 3. 【当日】 投稿予定の研究や執筆上の懸案を発表
 4. 【事後】 論文投稿（可能であれば）
- ※ 希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定します。
※ 事前に発表スライドなどの資料の提出をお願いすることがあります。



科研費申請支援制度について 全国大会プレカンファレンスおよびコメンテータ募集

人材育成委員会

科研費申請支援制度

本学会では次代を担う若手研究者の方々の自立，研究活動の活性化を積極的に支援することを目的として，科研費申請支援制度を2018年秋より試行します。当該分野での科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者が，提出された申請書をもとに，主張点や論旨の明確化など，ご自身の研究内容を審査員に上手に伝えアピールする視点から，採択に向けたコメントを書面で提供するものです。詳細が決まり次第，ニューズレター，jnews，学会ホームページ，Facebook等を通じて順次ご案内する予定です。積極的なご活用を期待しています。

全国大会プレカンファレンス

また，9月に開催される全国大会プレカンファレンス(2018年9月4日(火)9時～)にて，「採択される科研費申請書の書き方と科研費申請支援制度」と題したチュートリアル(*)も実施します。本チュートリアルは上記の支援制度と連動した企画ですが，内容は若手研究者に限らずみなさまにご参考頂けるものと思われまので，ご興味のある方は参加をご検討ください。

*教育・学習支援システム若手の会による「教育・学習支援システム若手研究者としてのモチベーションと研究アプローチ」とJSiSE 人材育成委員会の合同企画です。

コメンテータ募集

上記支援制度では本会理事等が中心となりコメント提供にあたることにしていますが，本学会が学際領域を対象としていることから，広く一般の会員の方からもコメンテータを募集しております。上記の若手研究者支援の主旨をご理解頂きご協力頂けると幸いです。

お問い合わせ，お申し込みは人材育成委員会 瀬田 (seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp) までお願いいたします。



2018 年度 第 3 回研究会 講演募集

担当：三好 康夫，安間 文彦，小西 達裕（研究会委員会）

■テーマ：センサデバイスを活用した学習支援システム・ツールの開発／一般

■開催日時：2018 年 9 月 29 日（土）

■会場：高知大学 朝倉キャンパス

高知大学共通教育 3 号館（高知県高知市曙町 2-5-1）

JR 土讃線「朝倉駅」下車

路面電車「朝倉（高知大学前）」下車

バス「朝倉高知大学前」下車

<http://www.kochi-u.ac.jp/outline/access/asakura/>

■趣旨：

第 3 回研究会は、「センサデバイスを活用した学習支援システム・ツールの開発／一般」のテーマで実施いたします。

センサデバイスは、加速度センサ、ジャイロセンサ、イメージセンサ、近接センサ、温度センサなど多種多様です。多くの方が所有しているスマートフォンには多くのセンサが内蔵されていますし、Web カメラ、Kinect、アイトラッカー、脳波計などは、センサデバイスを活用した入力デバイスと言えます。近年、Raspberry Pi や Arduino などの小型ハードウェアが安価で入手しやすくなり、センサデバイスから得られた信号を処理することが容易になりました。これにより学習支援システムでは、入力情報として、学習者のシステムへの能動的な入力行為により得られる情報だけでなく、学習者の身体動作そのものの検出や学習者の周辺状況の検出により得られる情報など、幅広い情報を扱うことができるようになりました。そこで本研究会では、センサデバイスから得られる情報を活用する学習支援システムやツールに関する研究発表を広く募集します。また、システム開発やコンテンツ作成をはじめ、教育実践や教材評価、カリキュラムの設計、学習科学、言語教育など、教育に関連した幅広い分野からの発表も歓迎いたします。職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。多くの皆さまの発表をお待ちしております。

■発表申込締切：2018 年 8 月 13 日（月）

■原稿提出締切：2018 年 8 月 29 日（水）

■発表申込および原稿提出は、下記 URL よりお願いします。

http://www.jsise.org/society/committee/2018/CFP_3rd.html

注) 研究報告電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。
以下のページをご確認ください。

研究報告執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

■オンライン講演申込・原稿投稿方法：

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■発表時間は1件25分（発表17分，質疑8分）です

■懇親会：研究会終了後，懇親会を開催する予定です。会費は5000～6000円の予定です。

■お問い合わせ先：三好 康夫（高知大学，第3回研究会担当委員）

E-mail：miyoshi_at_is.kochi-u.ac.jp（「_at_」は，半角の「@」に変更して下さい）



2018年度第4回研究会 講演募集

担当：松浦 健二，柏原 昭博，小尻 智子，曾我 真人，長谷川 忍(研究会委員会)

- テーマ：システマティックなスキル向上支援環境／一般
- 開催日時：2018年10月27日（土）
- 会場：徳島大学 常三島キャンパス 教養教育4号館202室（2階）
（〒770-8502 徳島市南常三島1-1）

<http://www.tokushima-u.ac.jp/campusmap/josanjima/>

■趣旨：

本年度第4回研究会は「システマティックなスキル向上支援環境／一般」のテーマで実施いたします。スキル学習支援，同獲得・開発支援に関する様々な研究がなされています。スキルとは，身体性と知性といった二元論的発想は既に支配的考え方ではなくなり，またその対象には，数学，語学といった分野から，音楽，芸術，スポーツ，医療，プログラミングなどあらゆる学習可能な分野に広がって捉えられています。その支援研究のアプローチの中心には，人間の暗黙知，経験知を形式知化して，伝達・表現することの重要性があり，これまでも多数の研究者が主張しているところです。ただし，身体知の個別性をもたらす支援や理解の困難さは，対象領域ごとの問題として明確に意識した適応的研究アプローチが必要であり，システムのモニタリング，分析，動的な支援エンジンなどが一般に必要です。

本研究会では，個々の研究が対象とするスキルに対する新しい概念，構造記述，構成手法，支援手法，評価手法などの議論を前提に，システマティックな支援環境の研究開発を幅広く募集します。本学会対象領域における，学習モデル，学習分析，技術開発，実践・運用，評価など多様な観点からの活発な議論を行えればと考えます。

また，このようなテーマに沿った内容に限らず，本学会の取り扱う領域における一般の研究発表も受け付けますので，多くの皆様からのご発表の申込みを期待しています。

- 発表申込締切 : 2018年9月10日（月）
- 発表原稿提出締切：2018年9月27日（木）
- 発表申込および原稿提出は，下記URLよりお願いします。

http://www.jsise.org/society/committee/2018/CFP_4th.html

※ このページは8月中旬にオープンいたします

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

■オンライン講演申込・原稿投稿方法

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

- 発表時間は 25 分（発表 18 分，質疑 7 分）を予定しております。
- 懇親会：研究会終了後，懇親会を開催する予定です。会費は4500円程度の予定です。
- お問い合わせ先：徳島大学 松浦健二（第4回研究会担当委員）
E-mail：ma2_at_tokushima-u.ac.jp（「_at_」は，半角の「@」に変更してください）



第 2 回研究会開催報告

研究会委員会担当委員:不破 泰(信州大)、小松川 浩(千歳科技大)、
布施 泉(北大)、金子大輔(北星学園大)、野崎浩成(愛教大)

■テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証/一般

■開催日：2018 年 7 月 21 日(土) 10:50-18:05

■会場：名古屋丸紅ビル 13F (愛知県名古屋市)

■概要：

2018 年度の第 2 回研究会は、7 月 21 日(土)、愛知県名古屋市の名古屋丸紅ビル 13F にて「ICT を活用した学習支援と教育の質保証/一般」というテーマで開催されました。

具体的には、学修支援システムのインターオペラビリティ、データ活用授業支援、学修成果の可視化と e ポートフォリオ、ICT 活用に関する質的分析、留学生の日本語学修支援、プログラミング学習、動機づけや学習者の行動分析など、ICT を活用した学習支援のみならず、その教育的評価を行うことで、教育の質保証を図っていくというスタンスで、大変多くの研究発表がなされました。大学(教職員や学生)・高専・企業など様々な立場の発表者が登壇し、発表後の質疑でも活発な議論が行われました。最終的には、研究発表 12 件、参加者数 37 名でした。北海道、本州・九州、全国各地からご参加頂きました。また今回は、第 2 回研究会としては初めての試みとして、協賛企業さんの内田洋行様に会場を提供を頂き、新しい教育環境と ICT の利活用というテーマでご発表とデモを開催頂きました。研究会終了後の懇親会でも学術的な交流を深めることができました。大変暑い名古屋でしたが、皆さん活発に議論を頂き、研究会ではとても有意義な時間を過ごすことができました。



ラーニングイノベーショングランプリ 2018 開催報告

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長

JSiSE が共催しているラーニングイノベーショングランプリ (LIGP) について、2018年7月4日(ラーニングイノベーション2018 展示会初日, 東京国際フォーラム) に最終審査並びに表彰式が行われました。最終審査結果は、以下の通りとなりました。

■最優秀ラーニングイノベーション賞 (副賞: ジンジャーアップ賞 10万円)

「機械学習を用いた生体情報からの学習者の心的状態のリアルタイム推定と学習支援の試み」

早稲田大学: 松居辰則研究室

■優秀ラーニングイノベーション賞 (副賞: 5万円)

「第二言語コミュニケーション意欲が高まるように、やさしく励ますアニメーションエージェント」

大阪府立大学: CEWill (シウィル)

■優秀ラーニングイノベーション賞 (副賞: 5万円)

「初めて仏教学を学ぶ学習者向け学習支援環境の開発: デジタル素材とボットを活用して」

熊本大学: bontechi



表彰式の様子

2月26日に受付を開始し、4月26日の締切りまでに29件の応募がありました。これらについて、産業界の10名の審査委員が審査を行い、各賞を選定しています。

5月9日に行われた一次審査では、応募書類から特に「独創性・斬新性」に優れたチームを選び、上位17チームが二次審査へ選出されました。

二次審査は、5分間のプレゼンテーション動画による発表で行われました。審査は、【1】産業界から見た独創性・斬新性(20点満点)と【2】社会的価値(a:教育・学習に与えるインパクト(10点満点), b:発

想スケールの大きさ（10点満点）、c:実用化された際の波及効果（10点満点）の各観点で採点（50点満点）し、6月13日に上位5チームが最終審査へ選出されました。

最終審査は、7月4日のラーニングイノベーション展示会（東京 有楽町）会場で審査委員への対面プレゼンテーション形式で行われました。各チームの発表後、別室での審査委員による投票とディスカッションを経て、各賞が選定されました。結果は、ご案内の通りです。

また、同日夜の表彰式で受賞結果が発表され、審査委員長より表彰状と副賞が授与されました。

ラーニングイノベーショングランプリは、学術界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関（大学・大学院・高等専門学校等）の研究室（チーム）です。

来年も開催いたしますので、皆さま奮ってご応募ください。

本グランプリの詳細及び各受賞者の応募内容は、<http://ligp.gingerapp.co.jp> をご覧ください

【開催概要】

主催： マイクロラーニングコンソシアム（mLC）

共催： 教育システム情報学会（JSiSE）／ 日本イーラーニングコンソシアム（eLC）

協賛： 学習分析学会，人工知能学会，電子情報通信学会教育工学研究会，日本 e-Learning 学会，日本教育工学会，日本情報科教育学会

協力： 日経 BP 社，ジンジャーアップ（公式サイト）

運営： ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスponsor：ジンジャーアップ

ゴールドスponsor：サイコム・ブレインズ，創新ラボ，デジタル・ナレッジ，D2C，WARK

【審査委員等】

<審査委員長>

杉本 隆一郎： 日本アイ・ビー・エム株式会社

<審査委員>

井手 啓人： 株式会社ジンジャーアップ

鎌田 純子： 株式会社ボージャー

小橋 岳史： 株式会社 日立製作所

下山 雄大： 株式会社 創新ラボ

鈴木 晴之： 株式会社NHKエデュケーショナル

長瀬 昭彦： 株式会社 WARK

入道 史子： 大塚製薬株式会社

前川 英之： 株式会社 D2C

米 豊： 大日本印刷株式会社

<実行委員一覧>

小林 建太郎： mLC / eLC / 株式会社デジタル・ナレッジ ※実行委員長

川口 泰司： mLC / サイコム・ブレインズ株式会社

藤井 直人： mLC / アカデミックパス株式会社

前田 宏： mLC / 株式会社ジンジャーアップ

柏原 昭博： JSiSE / 電気通信大学

東本 崇仁： JSiSE / 東京工芸大学

八重樫 理人： JSiSE / 香川大学

鈴木 裕之： 日経 BP 社。



ラーニングイノベーション研究展示報告

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長

日経 BP 社主催のヒューマンキャピタル／ラーニングイノベーションにて、教育システム情報学会の研究展示を事前に募集し、応募いただいた研究の当日展示を以下の通り実施しましたので報告いたします。



■ 展示担当研究

7/4(水) 前半：東京工芸大学・東本研究室

7/4(水) 後半：香川大学・後藤田研究室

7/5(木) 前半：電気通信大学・柏原研究室

7/5(木) 後半：千葉工業大学・仲林清、

放送大学・森本容介

7/6(金) 前半：徳島大学・松浦健二、幸田直也

7/6(金) 後半：徳島大学・谷岡広樹、松浦健二

1) イベントへの来場者数

三日間合計、約 19000 名

2) 研究展示ブースにお立ち寄りの方

三日間合計、約 70 名

研究展示は、教育システム情報学会を広く知っていただくと同時に、本学会の魅力的な研究を産業界を中心とした来訪者に見ていただき、交流・意見交換や、場合によっては連携強化につなげられればとの思いで実施しております。2018年度で2年連続となります。本学会ブースをめぐって来ていただいたり、展示している研究が異なることから、それぞれの日に跨って同じ方が来ていただいたり、訪問者は比較的少数でも興味を持っていただいている方との交流は一定できました。また、これまで学会とはあまり交流のなかった企業内人材育成の方や、商品企画の方も来られ、活発な議論が行えたと思います。ロボットや SCORM/cmi5、学習ログ分析、反転学習、プログラミング、スポーツ支援といったホットトピックにも敏感なようですが、普段接することの少ない企業内人材育成の担当者などをもっと意識してもよかったのかもしれない。また、他の商品展示ブースに比して情報量の多さが目立ち、また、相対的に分かりにくかった部分があったかと思われ、今後考慮を要するかと思います。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・年間購読:4,000円(定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む)
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いいたします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

東海支部より活動報告



東海支部講演会開催報告

- 日時：2018年5月12日(土) 15:00～17:00
- 会場：南山大学Q棟1階Q103教室
- 共催：日本リメディアル教育学会（JADE）東海・北陸支部
座長：津森伸一先生（聖隷クリストファー大学）

<講演1>

- 講師：坂本飛鳥 先生（聖隷クリストファー大学）

演題：「理学療法士養成校（リハビリテーション学部）でのグローバル人材教育に関する取り組み
ー 国境を越えて支援する医療従事者の育成をめざして ー」

国際的視点に立った理学療法士の育成を目指して、国際的な基準に沿った教育・能力担保の取り組みが紹介された。また、国際研修・実習教育の難しさと今後の課題が検討された。

<講演2>

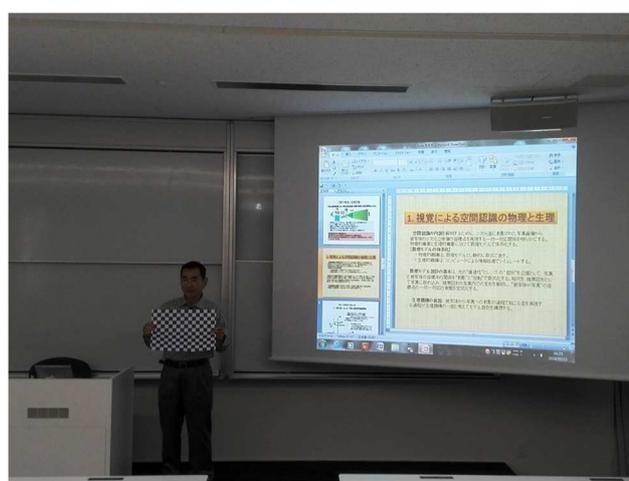
- 講師：磯本征雄 先生（教育システム情報学会東海支部顧問）

演題：「写真と被写体の座標点の数理的対応関係」

食事調査を支援するために、写真から料理の種類や重量を推定することを目的とした料理の撮影方法と誤差を少なくする写真の変換アルゴリズムについて検討された。



坂本飛鳥 先生



磯本征雄 先生

北信越支部より活動案内



電子情報通信学会 信越支部大会における 教育システム情報学セッション開催のご案内

北信越支部では、9月29日（土）に新潟大学工学部にて開催される電子情報通信学会 信越支部大会において、教育システム情報学に関するセッションを主催いたします。北信越地区に限らず、同分野に関して多くの研究者・学生が集まる機会として、ご活用いただきますようお願いいたします。

講演申込・原稿投稿などに関する日程は、以下のとおりです。

7月27日（金）17時：原稿投稿および発表申込締切

9月03日（月）17時：懇親会申込・バス利用 web 申込締切

※ 送迎バスの申し込みは先着順で定員になり次第締切

詳しくは電子情報通信学会 信越支部の Web ページをご参照ください。

電子情報通信学会 信越支部：<https://www.ieice.org/shinetsu/>



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

協賛 「平成 30 年度工学教育研究講演会」

日時：2018 年 8 月 29 日（水）～31 日（金）

会場：名古屋工業大学

協賛 「第 20 回日本感性工学会大会」

日時：2018 年 9 月 4 日（火）～6 日（木）

会場：東京大学工学部二号館

協賛 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2018」

日時：2018 年 9 月 5 日（水）～7 日（金）

会場：筑波大学

後援 「全国高等専門学校第 29 回プログラミングコンテスト」

日時：2018 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）

会場：アスティ徳島

協賛 「e ラーニングアワード 2018 フォーラム」

日時：2018 年 11 月 14 日（水）～16 日（金）

会場：ソラシティ カンファレンスセンター



国際会議のご案内

- 2018年11月開催
 - ◇ The Fourth International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2018)
開催期間 : November 5-7, 2018
開催地 : Takamatsu, Japan
URL: <http://sdiwc.net/conferences/4th-international-conference-on-electronics-and-software-science/>
論文投稿スケジュール : **October 5, 2018**

 - ◇ The 26th International Conference on Computers in Education(ICCE2018)
開催期間 : November 26-30, 2018
URL: <http://icce2018.ateneo.edu/>
論文投稿スケジュール : 締切済み

- 2018年12月開催
 - ◇ IEEE TALE2018: The IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering 2018
開催期間 : December 4-7,2018
開催地 : Wollongong, Australia
URL: <https://www.tale2018.org/>
論文投稿スケジュール : 締切済み



会費納入のお願い

2017 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願ひします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガックアイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行 (金融機関コード： 9900)

店名： ○一九 店 (ゼロイチキユウ店) 預金種別： 当座 口座番号： 0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガックアイ

◆三菱東京 UFJ 銀行 (金融機関コード： 0005)

店名： 上新庄支店 (カミシンジョウ支店)

預金種別： 普通 口座番号： 0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガックアイ

◆みずほ銀行 (金融機関コード： 0001)

店名： 茨木 支店 (イバラキ支店)

預金種別： 普通 口座番号： 1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガックアイ

- 請求書・領収書 (支払い後) は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。

※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費未納の方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の過年度分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料にさせて頂くというキャンペーン**を行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。 2018年5月26日～2018年7月24日

会員名	会員種別	会員名	会員種別
増山 純二	正会員	木村 優介	学生会員
白井 詩沙香	正会員	清水 赳	学生会員
吉田 友幸	正会員	西村 拓海	学生会員
岩屋 裕美	正会員	石井 怜央	学生会員
本郷 節之	正会員	村山 弘明	学生会員
松波 紀幸	正会員	椋浦 一哉	学生会員
田島 貴裕	正会員	蛭名 哲也	学生会員
菊地 剛正	正会員	峠 貴文	学生会員
谷岡 広樹	正会員		
山下 浩一	正会員		
豊浦 正広	正会員		
尾崎 剛	正会員		
板井 彩希	賛助会員からの正会員		

(計 21 名)